

# 人の繋がり、 居場所づくりの取り組みに ついて考える

～2つの実践から～

日時:5月11日(土)14時～16時

13時30分 受付開始

場所:守口市庁舎 会議室106号

住所:大阪府守口市京阪本通2丁目5-5



## 竹田 直樹氏

関西福祉科学大学 社会福祉学部  
福祉創造学科 助教

### 【プロフィール】

2016年4月に関西福祉科学大学への入学を機に、認知症カフェの運営等を行う学生主体のプロジェクト「福科大オレンジプロジェクト(通称、FOP)」に入会し、大阪府柏原市内にて、認知症カフェの運営に携わってきた。現在は、大学教員としてFOPに所属する大学生の指導を行うと共に、自身も柏原市内の地域福祉推進を目的とし、認知症カフェの運営に尽力している。

### 【ひとこと】

厚生労働省が打ち出した「新オレンジプラン」にも明記されている通り、全国各地で認知症カフェの普及・促進がなされております。新型コロナウイルス感染症蔓延期でもカフェの運営を止めることなく実施して参りました。FOPが行う認知症カフェの特徴としては、「あるコミュニケーション法を取り入れていること」「大学生が主体となり認知症カフェを実践している」点にあります。今回は、福祉を学ぶ大学生が認知症カフェを運営することの意義、面白さ、取り組み内容などをお話させていただければと思います。

## 尾崎 将義氏

NPO法人ところ  
代表理事

### 【プロフィール】

平成27年3月、関西福祉科学大学社会福祉学部臨床心理学科卒業。在学中は演劇部に所属。在学中に学生ホールで休憩した時に顔見知りから、「市に出す書類見て」と突然声を掛けられたことからNPO法人と関わることになる。学校に行きづらいこどもの居場所活動(フリースクール)の施設長として居場所活動のマネジメントしている。

### 【ひとこと】

「こども食堂」をきっかけに「こどもの居場所」がフォーカスされました。当法人は学校に行きづらいこどもの居場所。「ソーシャルキャピタル」をどう紡いでいるのか?ソーシャルワーク、カウンセリングをベースにした居場所づくり、こどもたち、保護者、地域とともに「居場所を創る」楽しさを皆さんと深めて行けたらと思います。

会員・大学生以下:無料 非会員:1000円

### (事務局)

公益社団法人 大阪社会福祉士会 北河内支部

mail:office.kitakawachi.sw@gmail.com

### 申し込み→

下記の申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/jbnW5mzc9u4mrqef8>

